

令和2年文月号

大洞院便り

令和2年7月6日 発行

お盆は、釜蓋朔日(かまぶたついたり)に始まり、七日(たなばた)の盆棚準備と続き、24日の地藏盆で終わりを告げます。今年の大洞院は、8月2日(日)の新盆法要、施食会に始まり、盆棚経、15日の盂蘭盆法要(うらぼんほうよう)、地藏盆と盆行事が続きます。先祖・故人・縁者をはじめ広く戦没者、天災地変の被害者らを含めた諸精霊の供養を行いましょ。

新盆法要 8月2日(日) 午前11時～ 会場:本堂 受付:寺務所

故人が最初に迎える盆を「新盆(しんぼん・にいぼん・あらぼん)」と呼び、本堂での法要で、手厚く御霊を供養します。新盆を迎える家族・親族は、本堂に参集を願います。対象の皆様には案内を同封しています。

本堂に設ける施食壇には新盆の故人の白木位牌を置き、浄水や供物を備えて、盆幡(ぼんばた)を建てて法要を行います。

本年は特に感染症対策として座席間隔を広げ、換気を強化します。冷房が不十分となりますので、軽装での参加を

お願いします。

8月盆の棚経予定日時は、7月末に本堂西廊下に掲示しますので、確認ください。また、新盆の位牌のある自宅には、住職が読経にお伺いします。よろしくお願いします。



施食(施餓鬼)会

施食法要は、先祖・故人・縁者・広く無縁の諸精霊の供養と、参列皆様の福德延寿を願っての法要です。次世代を担う家族とともに参加をお願いします。

これまでの施食法要には、講師をお迎えして法話をお願いしてきました。しかし本年は本堂内に参集いただく時間を短縮するために、法話を省略して午後1時に開式します。午後2時には終了を予定しています。

また、本堂前に焼香台を設けて、屋外でも焼香できるようにします。本堂内は、座席間隔を広げるため、従来の半数(約90席)の座席です。本堂での参列者は、西玄関にて住所・氏名・電話番号の記載をお願いします。万一の時は、保健所の指示に従い電話連絡などの対応に利用させていただきます。

本堂正面を開放して換気を強化します。冷房が不十分となりますので、軽装での参加をお願いします。



春彼岸本堂前の焼香台

8月2日(日)

午後1時～2時(時間短縮)

会場:本堂 受付:寺務所



西玄関内の記帳台

盂蘭盆法要

本堂での盂蘭盆法要を行います。終戦の日でもあり戦没者の慰霊、東日本大震災など災害死者の慰霊も行います。盆棚経を受けられなかった方、墓参を含めて多くの方の参加をお待ちしています。

本年からは、檀家以外の地域の方にも参加いただきたいと思ひます。夕涼みがてら、お集まりください。

法要終了(午後6時30分頃)後は、参道に千本灯明を点灯して、津軽三味線の奉納などで、先祖・故人の供養をさせていただきます。皆様も一緒にお聞きください。

8月15日(土) 午後6時～

会場:本堂 受付:寺務所



参道の千本灯明



津軽三味線の奉納

住職のつぶやき

しか じょうしん もつぱ ぜんぶつ さんげ いんも
 然あれば誠心を専らにして前仏に懺悔すべし、恚麼
 ぜんぶつさんげ くだりきわれ すく しょうじょう
 するとき前仏懺悔の功德力我を拯いて清浄ならし
 この くだく よ む げ じょうしんしょうじん しょうちょう
 む、此功德能く無礙の浄信精進を生長せしむるなり、
 じょうしんいちげん じ たおな てん そのりやく
 浄信一現するとき、自他同じく転ぜらるるなり、其利益
 あま じょうひじょう こう
 普ねく情非情に蒙ぶらしむ。

(修証義第2章第八節)

仏様の慈悲は広大無辺です。誠心誠意から今迄の行いを悔い改めれば心が清らかになり、清らかな心の安らぎは増して、その御利益は広く万物に行き渡ります。お寺の本堂、自宅の仏壇、故人の眠る墓前などで手を合わせて感謝するとともに日頃の行いを省みれば、心が安らかとなって新たなエネルギーで満たされるのを感じることでしょう。

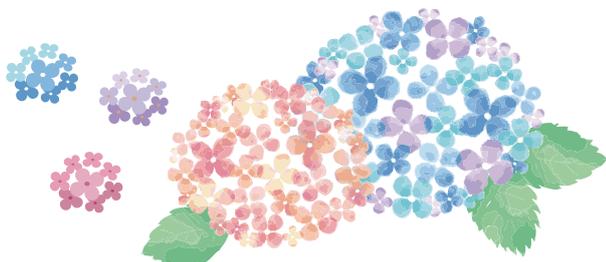
さて、故人や先祖の供養をするお盆の頃合いとなりました。大切な方が亡くなり初めてのお盆を迎える方も多くいます。もう少し何かしてあげたかったと想うこともあるかと思えます。その中で出来ることの一つに故人の位牌のある仏壇、故人の眠る墓前に手を合わせることがあります。

祖父母が仏壇の前で「ご先祖様のおかげで、いまがある。『ありがとう』と言ってお参りしよう」と手を合わせる姿を、見て育った方もいると思えます。日常生活の中で、先祖供養の風習を学び、足りないところは叔父伯母などの親戚が補ってくれました。お盆には、盆飾りを手伝った人もいると思えます。

しかし、核家族化の進んだ現在は、先祖供養の風習が十分伝承されず、仏壇の準備がまだの家もあります。そういった状況でも「新盆はしっかりと努めたいのです」とのお話をお聞きます。これは、まさに先祖・両親から受け継いだ信仰心の現れでしょう。

お盆の時節です。あの世に旅立った御霊が家族・親族の元に戻ってきます。真心を込めた盆飾りと故人の好物をお供えしてご供養しましょう。これは、その家に代々引き継がれた先祖供養の信仰心です。

これからご先祖様は、笑顔で皆様をお守りくださいます。心優しく御霊のお迎えを致しましょう。



盆棚経

盆棚経は、先祖・故人を自宅に迎えて供養する先祖供養の大切な行事です。櫻井大文住職、兄で福昌寺の櫻井文秀住職、満目尚樹和尚の3名が手分けして皆様の家の位牌の前で読経させていただきます。

7月盆の方には、事前に棚経予定日を記載した文書と盆幡を郵送させていただきました。8月盆で訪問する皆様には、案内文書を同封しています。棚経案内が届いていない方は、至急、寺務所に連絡ください。棚経計画に組み込みます。

各家の棚経日時は、新盆の方が加わり、休日など曜日指定の家があるため、毎年日程が変更となります。必ず確認のうえ、不都合や希望がありましたら、寺務所まで早めの連絡をお願いします。最終的に確定した8月棚経の日時は、7月末までに本堂西廊下に掲示させていただきます。

盆飾り

お盆の時期を迎えて、仏壇の清掃と盆飾りは7日に行う風習を聞きます。7日前後に盆幡(ぼんばた)を仏壇などに飾りましょう。仏壇がない場合は、位牌の周囲の壁に飾るのも良いかと思えます。

棚経にお伺いした時、僧侶は位牌に向かって供養の読経をさせていただきます。家族揃っての参拝をよろしく願います。

仏壇の飾り方(サンプル)

①盆幡(紙製の五色の旗/5枚)

7・8月に寺務所受付へ来訪した方へお渡ししています。仏壇上部に別途用意した紐をセロテープ等で貼り、吊り下げてください。

②盆棚

仏壇前に台やテーブルを置き、供物や精霊馬(なす・キュウリ)を設営します。



あじさいが咲きました

大洞院の本堂裏に咲くあじさいが見ごろを迎えています。



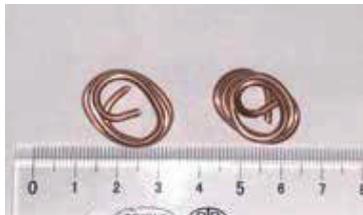
境内墓地の墓石点検をします

最近スマホの地震警報に驚くことが多い気がします。石材店から地震による墓石被害軽減のため目地止めなどの劣化点検に協力しますという申し入れがありました。順次、境内墓地を点検してもらい、不都合が見られる場合は、それぞれの方に連絡を差し上げる予定でいます。皆様も墓参の時に確認をよろしく願います。



ボウフラの予防

夏が近づき、墓地で蚊が飛ぶ季節になりました。落とし込み花立てについては、水にボウフラが発生しないように外して逆立ちにしてあります。仏花を立てる時は、お手数ながら元に戻してください。固定式花立てには、ボウフラ対策として銅線を入れています。



ボウフラ対策用の銅線(約1.5cm)

供養のしおりの完成

葬儀を終えて四十九日法要やそれ以後の回忌法要、新たに墓石を建立したり仏壇を購入したときの開眼法要など、檀家の皆様の役に立つ情報をまとめて「供養のしおり」を作成しました。すでにお配りしている「葬儀のしおり」と共に活用してください。

寺務所で配布しています。お声がけください。



長寿祝いの会は中止しました

喜寿・傘寿・米寿の方を招いて福德円満・健康長寿の祈禱と懇親を深める長寿祝いの会は、コロナ禍のために準備ができず中止とさせていただきます。

来年は本年対象の方を含めてお招きしたいと考えています。

収支計算書を掲示しました

千葉県に提出済の平成31年4月から令和2年3月までの収支計算書を事務所玄関掲示板に掲示しました。決算結果は税理士の点検を終え、監査役が最終点検中です。

檀家拡張のためのポスティング

昨年11月から、檀家など大洞院の仲間を増やすことを目的にポスティングを始めました。大洞院のある花野井から、東急ビレッジ、松葉町、柏たなか駅周辺の新興住宅地などへと対象を広げています。

世話人、坐禅会メンバーの協力で、すでに1万6千戸へ「新年行事と大洞院の案内」、「周辺散策地図と大洞院の案内」をポスティングしました。

その結果、大洞院に散歩がてら訪れる人が目に見えて増えています。これからは、盂蘭盆法要など盆行事と大洞院の案内のポスティングを予定しています。協力いただける方を募集中です。

大野隆司さん絵ハガキプレゼント

東葛地域で活躍する版画家の大野隆司先生さんから、見る人を元気づける言葉と版画作品のポストカードをたくさん頂戴しました。

参拝の方や、境内や山門前を散策する皆様に手に取っていただけるように、山門前掲示板のケースにハガキを設置しました。

参拝の際に、ぜひお手に取ってください。



皆様の声

Q.8月盆棚経の日程変更のお願いどうしたら良いですか。

A.8月盆棚経は、8時から17時30分の間で、15日の花野井地区から遡って計画を組み、周辺の棚経先に少ない移動時間で効率よく行けるように計画しています。今年の場合、12日以前と16日以降に計画変更の余裕を見込んだ計画を作っています。日時変更の希望は早めに大洞院寺務所まで連絡ください。

Q.回忌法要後の本堂仏花はどうなるのですか。

A.新しい仏花が本堂に上がった場合、以前の仏花は永代供養合祀墓、歴住墓、山門六地藏、ペット合祀墓などに供えています。

GALLERY NEWS

◆長縄えい子作品展

6月6日(土)～7月14日(火)

洋画家の長縄えい子さんの個展を開催中です。会期中で展示作品を入れ替えています。

本堂内南面には90×180cmの大作「遊戯(ゆげ)」、西面には「釈迦八相図」連作(F8×8枚)もあります。ギャラリー内の小作品類は、即売しています。



著者近影
(令和元年撮影)

長縄えい子

深川生まれ柏市在住の洋画家。幼い頃、祖父の親戚で日本画家・川崎小虎(東山魁夷の岳父)から絵の手ほどきを受けました。セツ・モードセミナーを卒業。水彩画・油彩画をはじめ絵本の創作や挿絵、板画など幅広い制作活動をしています。商店会や文化団体のポスターやチラシも多数あります。

◆大洞院所蔵作品展

7月18日(土)～8月31日(月)

皆様の寄進作品など大洞院にある絵画や彫刻、所蔵品などを展示します。

ギャラリーと西玄関は常時冷暖房してありますので、散歩、墓参など、いつでも観覧しながら休憩してください。

(展示予定品:大洞院所有の陶磁器、掛け軸、地井紅雲作品、渡辺真利作品、仏教書・大蔵経、吉田家蔵書など)



地井紅雲「双神遊歴」

◆大野隆司作品展

9月4日(木) 開始予定

毎週金曜日の読売新聞夕刊「言葉のアルバム」の挿絵を連載している版画家・大野隆司さんの作品展を開催します。

大洞院墓地の壁画や境内の「いぬねこぞう」も大野隆司さんの作品です。



大野隆司
「いつもいっしょ」

柏市民ギャラリー (8/6～13) 長縄えい子の画業



8月6日から13日まで、パレット柏にある市民ギャラリーの全域を使った「長縄えい子の画業」展を開催します。主催はパレット柏で、企画運営は大洞院ギャラリー運営委員会が担当します。展覧会のポスター、チラシの作成、作品集の編集などの作業を大洞院で進めています。また大洞院ギャラリーで7月14日まで展示しているのは、出展作品の一部です。是非とも観覧ください。

日時:2020年8月6日(木)～13日(木)

場所:柏市民ギャラリー(パレット柏) 入場無料

歳の市(バザー)の品物募集のお願い

今年12月も、恒例の歳の市(バザー)を開催します。

ご自宅に眠る不要となった品々を提供ください。大洞院寺務所へと相談・連絡ください。

皆様の協力をよろしくお願いいたします。



曹洞宗 花井山 大洞院

〒277-0812 千葉県柏市花野井1757

TEL 04-7132-5868 FAX 04-7134-2131

URL <http://www.daitoin.net/>

Email daitou@daitoin.net

